

## 「ボランティア・ウィーク記念シンポジウム 2003」開催のお知らせ

毎年12月5日は国連が提唱する「ボランティア・デー」です。『広がれボランティアの輪』連絡会議では、その前後を「ボランティア・ウィーク」として、ボランティア・市民活動の推進やボランティア・市民活動への関心を高めるためのイベント等を行っています。

本年は、12月6日、ボランティア・市民活動のベースとなる「コミュニティ」について、その新たなる方向性を、すでに各地でおきている興味深い事例から考えていくために下記のとおりシンポジウムを開催いたします。

ボランティア・市民活動をさらにすすめ、これからの社会のあり方をともに考えていく機会としたいと思います。多くの方の参加をお待ち申し上げます。

テーマ：「コミュニティ再考—新たなる社会のあり方を模索して」

主催：『広がれボランティアの輪』連絡会議（事務局：全国社会福祉協議会）  
日本経団連1%クラブ

日時：12月6日(土) 13:00~16:45

会場：経団連ホール（東京都千代田区大手町1-9-4 経団連会館14階）

参加費：2000円

定員：300名

参加者：ボランティア・市民活動推進団体／コーディネート団体等職員  
ボランティア・市民活動実践団体職員・活動実践者  
その他、関心のある方

参加申し込み方法：

- 1) 原則として事前申し込みをお願いいたします。
- 2) 裏面の申し込み用紙に必要事項をご記入のうえ、下記あてにファックスをしてください。  
『広がれボランティアの輪』連絡会議ウェブサイト上の申し込み用紙に記入のうえEメールを送付いただいてもかまいません。
- 3) 参加者名簿にはお名前と所属名のみ記載する予定です。
- 4) 参加費については当日申し受けます（必要な方には参加費の領収書を発行いたします）。

申し込み先・問い合わせ先：

全国社会福祉協議会・全国ボランティア活動振興センター  
『広がれボランティアの輪』連絡会議 シンポジウム事務局  
Fax 番号 03-3581-7858 TEL 03-3581-4656

『広がれボランティアの輪』連絡会議ウェブサイトアドレス  
<http://www3.shakyo.or.jp/hirogarewa/>

# シンポジウムプログラム

## コミュニティ再考－新たなる社会のあり方を模索して

13:00	ご挨拶
13:10	Part I シンポジウム解題－目的とねらい
	山崎美貴子 『広がれボランティアの輪』連絡会議副会長
	*『提言』の基本的な考え方や本年度の内容のポイント、シンポジウムの構成とねらいについてかんたんに紹介する。
13:30	Part II リレートーク「コミュニティのカー実践からみえてくること」
13:35	◆(社福) 興望館(東京都・墨田区)
	野原 健治 (社福) 興望館館長
	東京の下町に80年余の歴史を刻んできたセツルメントを母体とする社会福祉法人。さまざまな地域活動を活発に展開するほか、児童養護施設や保育園の運営もやっている。地元の人びとのみならず、近隣各地から、さまざまな年齢・立場の人びとがボランティアとしてかわり、有機的な事業展開を行っている。また、英国GAPプログラムとのかかわりなど、国際的な活動も盛んである。 本シンポジウムでは、人と人をつなぐ場づくり・しかけづくりの視点からお話をいただく。
13:55	◆まちづくり倶楽部(青森県・むつ市)
	工藤 知彦 まちづくり倶楽部代表
	人口5万人のむつ市にて、住民参加によるまちづくりを考えるグループが誕生した。その中心人物は建築士。福祉や環境、といった従来の分野からちょっと異なった視点からまちづくりのムーブメントをおこす。特に、小学生や中学生の参加型ワークショップを通じて、だんに「学習」することにとどまらず、「考え」「行動」することもしかけ、子どももまた「まち」を形成する資源であり知恵袋であることをごく自然に定着させてきている。まちを変えるためのプロジェクトの提言をしたり、地域通貨について検討するなど、市民学習を実践している。 本シンポジウムでは、子どもの参加によるまちづくりの視点からお話をいただく。
14:15	◆かながわベトナム親善協会ほか(神奈川県・大和市)
	桜井 ひろ子 NPO法人 神奈川県インドシナ難民定住援助協会会長
	神奈川県インドシナ難民定住援助協会では、難民定住センターの卒業生たちが多く居住する大和市ならびに近隣地域にて、定住難民の生活支援、当事者活動支援、行政や市民等とのはしわたしなどを長年にわたり行ってきている。 その関係者のうち、ベトナムからの難民の方がたが自助組織として、母国語によるニュースの発信や相談事業、母国の伝統行事や言葉を伝える活動、地域の人たちとの交流事業などを長年行ってきている。ラオスの人たちも同様の活動を今年から拠点をもってたちあげている。 本シンポジウムでは、新しい住民として地域への定住を図る人たちの活動と彼らと従来からの住民とのかけ橋をどのようにつくっていくか、支援の視点とセルフヘルプの視点からお話をいただく。
14:35	◆(特非) 自立支援センター ふるさとの会(東京都・台東区)
	水田 恵 (特非) 自立支援センター ふるさとの会代表理事
	東京山谷地区は経済成長期には日本有数の寄せ場として活気を呈していた。しかし、現在、山谷地区に拠点をおく日雇い労働者は高齢化がすすみ、また不況の影響下、仕事を得ることも困難であり、ホームレス化がすすんでいる。ふるさとの会は、そのような人たちの定住化支援、自立支援、生活支援と就労支援、住宅や宿泊所の提供など、多様な活動を行ってきている。また、地元の商店会との関係づくりをすすめ、環境整備を軸に、ホームレスの人たちと地元住民との新たなる関係づくりのかけ橋ともなっている。 本シンポジウムでは、コミュニティから最も切り離された人びとが新たなるコミュニティの一員として新たなる生活をつくっていくことの意味、その実現にむけていかなる仕掛けや支援が必要か、といった視点からお話をいただく。

15:00	PartIII 討論「コミュニティのカーリレートークよりみえてくるもの － 「提言」次章にむけて－ 山崎美貴子（神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部長／広がれボランティアの輪 副会長） 米澤 勉（三菱地所株式会社企画管理本部社会環境推進室長／1%クラブ会員） *提言の内容ならびにリレートークをふまえ、社会をよりすみやすい場所としていくためのボランティア・市民活動の意味、コミュニティにおけるインパクト、これからのボランティア・市民活動の方向性について語りあう。
15:40	シンポジウム終了のご挨拶
15:45	第二部 交流会(名刺交換会) *参加者の方々のネットワーキングの機会です。かんたんなパーティの雰囲気の中、いろいろな方とお知り合いになってください。リレートーク参加者の資料・質疑コーナーや1%クラブによるバザーもあります。
16:45	終了

## プログラムのねらい

『広がれボランティアの輪』連絡会議では、人びとのボランティア活動への関心と理解を深め、さらにボランティア活動を推進していくため、『提言』を策定してきています。

この『提言』は昨年度より数年にわたって「コミュニティ」をとりあげることとし、現代におけるコミュニティの姿を解き明かしていくとともに、『コミュニティ』におけるボランティア・市民活動の可能性を探る試みを行ってきています。

本シンポジウムでは、ボランティア・市民活動がコミュニティにおいてどのような役割・意義をもつのか、よりよい社会を創りあげていく過程にいかに関与できるのか、などについてあらためて問うこととしたいと思います。

コミュニティのもつさまざまな側面に焦点をあて、身のまわりのできごとや生活に新しい角度から少し光をあてることで、新しい学びや出会いの場・活動の場ができていくこと、そして楽しいこと・不思議に思うことからいろいろな展開がありえること、など、多様な実践の形を語っていただくことにより、ボランティア・市民活動の幅広くも奥深い可能性を探り、コミュニティのもつ潜在的な力に思いをはせるきっかけとなればと願っています。

ボランティア・市民活動の新たなる展開を求めている、さらなるネットワークの構築の必要を感じている、またこれからのボランティア・市民活動推進のあり方を模索している、そのような組織やグループ、市民の方たちになんらかのヒントとなれば幸いです。

